（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療法型多機能事業所　奏かなで			
○保護者評価実施期間	2026年2月4日	～	2026年2月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	1
○従業者評価実施期間	2026年2月4日	～	2026年2月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	畑を所有していることから、室内だけでなく屋外でも運動能力を向上させるための活動が出来たり、季節を感じながらの五感を刺激し向上させる活動ができる。	屋外では季節を感じれるよう、春はお花見・夏はプール・秋は虫取り・冬は氷の観察など、五感を感じれる活動が出来るようにしている。	屋外で感じた感覚を自分で記録として残せる絵画など、様々なプログラムとリンクさせた内容にしていく。
2	音楽療法では、歌ったり楽器を鳴らしたりすることでのコミュニケーション能力の向上を図るだけでなく、地域からの依頼にてステージに出ることで日常では味わえない緊張感・達成感を提供する事が出来る。	リズム感の向上だけでなく、音楽を通して集団での過ごし方がスムーズに出来るように対応している。	個別での計画を立てて課題や意向に沿った音楽療法にて日常スキルの向上やや楽器のスキルアップに取り組むことで、集団での音楽演奏が子ども達で出来るようになるよう取り組む。
3	児童の活動のやりたい気持ちに寄り添いながら、活動プログラムを一緒に決める。その中で時間を意識していく事や、次の活動への切り替えを行いながら、楽しい活動を行う。	日常スキルや学習面、トイレトレーニングなどに対しても、児童の好きなキャラクターなどを活用し、少しでも不安を取り除きながらの前向きに取り組めるよう支援している。	１対１の支援だけでなく、利用児童同士が一緒に取り組める活動も取り入れていき、協力したり、譲り合ったり、気持ちを共有できるような経験を詰める活動を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の回数が少ない。		現在、放課後等デイサービスで開催している地域との交流イベント時に一緒に参加できる環境を作る
2	利用に対する送迎が、保育園迎え保育園送りなど、ご家族様とコミュニケーションを取る機会が少ないため、ご希望に沿った支援が出来ているのかの調査が不足している。		事業所用携帯を用いて、LINEなどを活用しコミュニケーションを密に取るようにしていく。
3	事業所前の公道の交通量が多いため、送迎時や室内からの飛び出しなどの危険が多い。		玄関の移設は難しい為、車の乗降時には必ず職員が手を引くこと、玄関前に児童が来る際には職員が立ち会うことを徹底している。